

答 辞

本日は諸先生方ならびにご来賓の皆様のご臨席を賜り、盛大な卒業式を挙げていただきましたことに、卒業生一同心より御礼申し上げます。また小畑学長、藤森様には温かいお言葉をいただき誠にありがとうございました。

振り返ると、入学した日が遠い日のように感じられます。この四年間、学業、サークル活動、アルバイトと忙しい日々を過ごしてきました。全てがいつも順風満帆であった訳ではありませんが、課題に直面したときは懸命に取り組み、こうして無事卒業の日を迎えることができました。今、大学で得た経験を礎にして、再び次の目標に向かって進むことができます。

私は環境問題を学ぶために本学に来ました。社会という複雑な仕組みを目の前にしながら、純粹に科学に集中できたことは幸せなことだと感じています。大学では、知識の吸収だけでなく、観察をもとに理論を導く作業を行いました。自分の知識不足を痛感し、文献にあたり、先生や先輩方に助言をいただきながら、納得できる解答を出すことに苦労しました。その過程を通じて科学の世界や社会に進むための力をつけられたのだと思います。

共に大学時代を過ごした友人はかけがえのないものです。それぞれの人と初めて交わした緊張感のある会話を超えて、今、気兼ねなく話せる仲になれたことを嬉しく思います。一緒に準備したイベントや、各地に行った旅行など、楽しい思い出を作ることができました。全国から本学に来た友人たちの言葉や行動は、いつも私を刺激し、私を応援してくれたり、考えを変えさせたりしてくれました。友人たちがいたからこそ努力し、また大学生活を楽しむことができたのです。一人ひとりの進む道は異なりますが、何度でも同じ大学の仲間として再び会いたいと思います。

さて、私たちが学んでいる間に、日本を取り巻く状況も変化しました。過去を見直し、新しい未来を切り開くチャンスのと看だと信じて進んでまいります。私たちの力が未来を創っていく力となるよう、自分の信じる正義と誠実さをもって社会のために尽力する人でありたいと思います。

今まで熱いご指導とご助言を頂いた先生方、大学生活を支えて下さった職員の方々、そして友人、先輩、後輩たちに心より御礼申し上げます。また本日まで私を応援し多大な労力を注いでくれた家族に深く感謝いたします。

本日はありがとうございました。皆様のさらなるご活躍をお祈りして、答辞とさせていただきます。

平成二十二年三月二十五日

卒業生代表

農学部 環境資源科学科四年

渡辺 麻有子